

授業科目名・形態	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ・講義	必修・選択の別	選択		
担当者氏名	岩間 薫 ・ 山下 梓	開講期	1年後期	単位数	2

【授業の主題】

ジェンダー概念に関連する諸事象を歴史的視点から学び、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念・意義等を国際的視点から捉えながら、セクシュアリティとジェンダー、医療・看護とセクシュアリティ、女性の健康問題・社会問題等について理解する。さらに、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの実現に向けて考察し、行動することができるための知識を身に付ける。

【到達目標】

1. ジェンダーと人権に関わる問題について理解する。
2. リプロダクティブ・ヘルス/ライツの意味・概念を理解し、問題点を見出すことができる。
3. 医療現場、看護におけるセクシュアリティに関わる問題について理解する。

【授業計画・内容】

第1回	ジェンダー、セクシュアル&リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (SRHR) と人権 (山下 梓)	
第2回	カイロ・北京会議、MDGs・SDGs と SRHR (山下 梓)	
第3回	ジェンダー、暴力と SRHR (山下 梓)	
第4回	インターセクショナルリティと SRHR (山下 梓)	
第5回	グローバル視点からみるプライマリケア提供者のコアコンピテンシー (山下 梓)	
第6回	ライフライン (人生設計)	(岩間 薫)
第7回	リプロダクティブ・ヘルス/ライツとは	(岩間 薫)
第8回	性の健康とは	(岩間 薫)
第9回	人間の性とは	(岩間 薫)
第10回	医療・看護とセクシュアリティ	(岩間 薫)
第11回	リプロダクティブ・ヘルスを阻害する問題①	(岩間 薫)
第12回	リプロダクティブ・ヘルスを阻害する問題②	(岩間 薫)
第13回	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ確立に向けて①	(岩間 薫)
第14回	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ確立に向けて②	(岩間 薫)
第15回	まとめ	(岩間 薫)

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。グループワークによる資料作成・発表も行う。

【授業準備】

授業の中で取り上げられた問題については、次回の授業まで新聞などから現実に起きている問題として確認しておくこと。

【主な関連する科目】

次世代育成ケア論、母性看護学概論、母性看護学方法論、母性看護学実習、助産科目

【教科書等】 資料を配付

【参考文献】 適宜提示

【成績評価方法】

筆記試験 80%、授業への取り組み姿勢・グループワークの発表内容・提出物等 20%により総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

- ・ 医療従事者になることを目指している皆さん。社会で起きている女性・男性問題や健康問題、セクシュアリティについて一緒に考えてみませんか？ そして、「ホモファビア・フリー」な医療現場を目指しましょう。

*助産師に興味のある人、助産師になりたいと思っている人は、必ず履修してください。